

収穫とお手伝いしてくれた皆さんに感謝を込めて

12月9日に5年生が家庭科の調理実習に合わせて学校田で収穫したお米でご飯を炊き、収穫祭を行いました。今年は、春先の天候不順もあり、収穫量が心配されたところですが、

思いの外、大豊作となり、420kgの収穫がありました。

例年、収穫した米は、5年生の親子レクでカレーなどを作って食べていたようですが、今年はCS担当職員の発案で、5年生担任の協力のもと、田植えや稲刈りに協力していただいたボランティアの方々を招待し、5年生の子どもたちが、なべで炊いたご飯と味噌汁をみんなで一緒に味わいました。



今の時代、鍋でご飯を炊くことも少ないでしょうから、どんな具合かな?と思ひ子どもたちに「ご飯はおいしく炊けたかい?」と聞くと「う〜ん、ちょっと堅かったかな〜」と言っている子もいましたが、ご招待した皆さんは口々に「おいしかったです!」とおっしゃってくださいました。

今年は、5年生に限らず、自分たちの学習などでお手伝いをしてくださった方々に、子どもたちからの感謝の気持ちを表そうという取組が、いくつか行われました。1年生は、一緒にコスモスを植えてくれた福寿会のおじいちゃんやおばあちゃんに、子どもたちが描いた絵をプレゼントしたり、2年生では、学級園の手入れを手伝ってくださった、近所の方を招いて、収穫したミニトマトや枝豆、そして給食と一緒に



5年生とボランティアの皆さん 感謝祭



食べたりと、学校が手伝ってもらえばかりでなく、学校が地域やボランティアの方にお返しをするといった、双方向のつながりが見られるようになってきたと感じています。

今後、各学校においてCS（コミュニティ・スクール）の導入が一層進むことが予想される中、北海道で最初にCSを導入した三笠小中学校は先駆的な立場として活動をより一層充実させていく努めがあるのではないかと思います。「すべては、三笠小中学校の子どもたちのために」

学校・家庭・地域がこの思いでつながり、それぞれができること、みんなで思いを一つに協力することができれば、子どもたちにとって最高に幸せな学校や地域になっていくはずですよ。今年も様々な場面でのご協力ありがとうございました。



お米の袋詰め作業

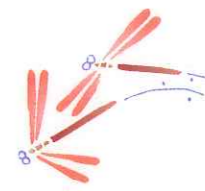


CSのPR

CSのPR活動の一環として収穫した米に子どもたちのメッセージを添え、市内のイベントに合わせて配布します。CSを知っていただき、さらにボランティアさんの登録が増えたらと願っています。



三笠市小中一貫 コミュニティスクール



平成28年9月27日・12月9日

5年生 稲の収穫と感謝祭

